



アキノゲン

# 見沼自然散策

2019.8.11



イジミカワ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ

## トンボ1

トンボの雄は腹部の付け根付近に副性器を持つ。成熟したオスはここに精子を移し、メスと出会うと腹部の先でメスの首付近をつかむ。メスは自分の腹部の先をオスの副性器にあてて、精子を受け取る。ハート形につながる形。



チョウトンボ



コシアキトンボ



ウチワヤンマ

## トンボ2

交尾したメスは精子を蓄えておき、産卵時に受精させている。このためオスはメスが産卵するときもつながっているか、周囲を飛んで警護している。そうでないと、ほかの雄が雌を捕まえ交尾、その際、蓄えていた精子は捨てられてしまうのだそうだ。



アオモンイトトンボ



アジアイトトンボ



ギンヤンマ



クヌギの枝先

←クヌギやコナラの枝先が落ちている。枝はきれいに切り取られている。  
→枝先を落とした犯人はハイロチョッキリという甲虫。若いどんぐりに長い口で穴をあけ、その中に産卵すると、枝を切り落とす。幼虫はどんぐりの中身を食べて育ち、土に潜って蛹になる。



ハイロチョッキリ



ミンミンゼミ



クサギ



クズ

←←クサギの花のおしべとめしべを見てほしい。咲き始め、花はオシベを突き出し虫を待つ。花粉を出し終わると雄しべは垂れ、メシベが首をもたげる。  
←秋の花。そう、立秋頃に咲き始める。  
→ヤマハギも秋を思わせる花



ヤマハギ



ハエドクソウ



ヤブミョウガ

←←ハエドクソウはつぼみの時は上を向き、開花時には横を向いて虫が止まりやすいようにする。果実の時期、身は莖に沿って下向きになり、通りかかった獣の毛につき移動する。



フヨウ

←ヤブミョウガは暗いところを好むが、虫には来てほしいから白い花